

第 67 回 通常 総 会 議 事 録

東京都新宿区津久戸町 4 番 6 号
公益社団法人 プレストレストコンクリート工学会

日 時：令和 8 年 5 月 22 日（金） 15:30～17:15

場 所：東京都千代田区九段北 4-2-25 アルカディア市ヶ谷（私学会館）

1. 開 会

奥谷専務理事が開会を宣言し、出席正会員は委任状とも 1,219 名で、定款第 17 条に規定する、正会員総数 2,380 名の過半数の出席を得ているので、本総会は成立する旨の報告があった。

2. 出席役員

会長：中村 光，副会長：岸本一藏，大山博明，専務理事：奥谷祐介，
理事：井上 晋，九富 理，齊藤成彦，佐藤忠宏，左東有次，山東徹生，下村 匠，
平 喜彦，二井谷教治，福井 剛，細谷 学，松原喜之，渡辺博志
監事：大村一馬，中野元裕，花島 崇

3. 中村会長挨拶（要旨）

第 67 回通常総会の開催にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

本工学会は、前身のプレストレストコンクリート技術協会が 1958 年に発足して以来、わが国のプレストレストコンクリートおよびコンクリート構造に関する学術の発展と技術の進歩ならびに会員の資質の向上と国際的な情報交流を図り、社会の安全と発展に貢献することを目的に活動してきた。1960 年に社団法人となり、2012 年に公益社団法人に移行した。

近年の社会を取り巻く状況は、少子高齢化、人口減少が進む一方で、インフラ構造物の老朽化や頻発する大規模自然災害に対して、安全で安心なインフラの整備、維持管理、更新の必要性が高まっている。プレストレストコンクリートは、新材料、新技術や ICT など関連技術を取り込みながら、持続可能な社会の実現に貢献できるものと確信している。

本工学会は、プレストレストコンクリートに関する技術規準の整備・発刊、会誌「プレストレストコンクリート」の年 6 回の発行、「プレストレストコンクリート技術講習会」および「プレストレストコンクリートの発展に関するシンポジウム」の開催、

ならびに技術者資格認定事業を主な活動としている。これらの活動が、年々発展し充実してきたことは、会員各位の皆さま、関係各位のご支援とご協力の賜物であると深く感謝申し上げます。特に、本年のシンポジウムの投稿が、約 230 編あり昨年より 2 割程度増加し、技術的な交流が活発になっていることを喜ばしく思っている。

本工学会の国際活動としては、国際学会である *fib* に日本コンクリート工学会とともに日本を代表して参画している。4 年に 1 度開催される *fib* コングレスが、2030 年に我が国の京都で開催されることから、それに向け 2024 年度より、日本コンクリート工学会と共同の準備委員会を組織し、準備活動を進めている。

公益社団法人となって本年で 15 年目を迎える本工学会が抱える課題の一つとして、組織の安定的な運営と持続的な発展を可能とするシステムの構築がある。これに向けた対策の一環として、若手の技術者や学生にとって参加意欲が持てる魅力ある工学会にして行かなければならないと考える。その一つとして本工学会の活動内容を分かりやすく公表するために、昨年ホームページのリニューアルを行った。また、2023 年度より公募研究委員会制度を改革し、大学や民間を問わず、若い技術者・研究者が学会の委員会活動に気軽に参加し、研鑽に励み、交流ができる機会を随時提供している。

会員の皆さまにおかれては、今後とも本工学会へのご支援とご協力をお願い申し上げます。

本日は、令和 7 年度の事業活動についてご審議を賜り、併せて議事の進行にご協力の程をお願い申し上げます。私の挨拶とさせていただきます。

4. 議長選出

奥谷専務理事から本総会の議長は定款第 15 条により、会長がこれに当たるとの説明があり、中村会長を議長とした。

5. 議事録署名人の指名

議長発言にて、定款第 19 条の規定では、議事録署名人は、議長および議長が指名する出席者 2 名以上としている旨、説明があり、次の両氏が指名された。

岸本 一 藏 氏 大 山 博 明 氏

6. 議 事

第 1 号議案 令和 7 年度事業報告

議長より大山副会長が指名され、本日配布の議案説明が行われた後、議場に諮った結果、原案どおり承認議決された。

第2号議案 令和7年度収支決算報告

議長より奥谷専務理事が指名され、まず令和7年度収支計算書、貸借対照表、正味財産増減計算書、財務諸表に対する注記、および財産目録に関し説明があった。

さらに、大村監事から監査の結果、何れも適正且つ妥当であった旨の監査報告、ならびに本決算報告について茂利公認会計士のご指導を受けたとの報告があり、議場に諮った結果、原案どおり承認議決された。

第3号議案 役員改選

議長より本工学会の役員の改選については、毎年約半数の改選が行われ、新任ならびに再任役員の選任については、総会の承認を要する旨の説明があった。

すなわち、本通常総会の終結をもって理事井上 晋、太田義弘、大山博明、奥谷祐介、岸本一藏、忽那幸浩、九富 理、齊藤成彦、佐藤忠宏、下村 匠、中村 光、二井谷教治、福井 剛および監事花島 崇の任期が満了するため、次に示す表により理事および監事を選任したい旨を議場に諮った結果、満場一致で承認議決された。

新任・再任役員				継続役員			
理 事	岩 田	道 敏	(新任)	理 事	勝 木	太	
同	岩 立	次 郎	(新任)	同	佐 藤	靖 彦	
同	野 島	昭 二	(新任)	同	左 東	有 次	
同	山 本	貴 士	(新任)	同	山 東	徹 生	
同	太 田	義 弘	(再任)	同	住 吉	英 勝	
同	大 山	博 明	(再任)	同	平	喜 彦	
同	奥 谷	祐 介	(再任)	同	谷	昌 典	
同	岸 本	一 藏	(再任)	同	細 谷	学	
同	齊 藤	成 彦	(再任)	同	松 原	喜 之	
同	佐 藤	忠 宏	(再任)	同	渡 辺	博 志	
同	下 村	匠	(再任)	監 事	大 村	一 馬	
同	中 村	光	(再任)	同	中 野	元 裕	
同	福 井	剛	(再任)				
監 事	小 松	正 貴	(新任)				

議長発言にて、続いて行う第1号報告の令和8年度事業計画および第2号報告の令和8年度収支予算については、3月17日に開催した第692回理事会において、審議の上、承認されている旨、報告があった。

第1号報告 令和8年度事業計画

議長より岸本副会長が指名され、令和8年度事業計画の説明があり、了承された。

第2号報告 令和8年度収支予算

議長より奥谷専務理事が指名され、令和8年度収支予算書に関し説明があり、了承された。

7. 名誉会員推挙

議長より、本会ならびにプレストレストコンクリート技術の普及と進歩発展のため、長年にわたり功績を残された方を名誉会員に推挙しているとの説明があった。本年度の候補者として井上 晋氏，手塚正道氏，西垣義彦氏および森 拓也氏が披露され、総会に諮った結果、満場一致で名誉会員への推挙が承認された。

8. プレストレストコンクリート工学会賞授与

令和7年度プレストレストコンクリート工学会賞の授与について、工学会賞選考委員会下村委員長から、令和7年度工学会賞選考理由について説明がなされた。

○作品賞（賞状と記念盾）

（土木部門）

● 新皆瀬川橋
中日本高速道路(株) 東京支社 殿
三井住友・大日本土木・フジタ特定建設工事共同企業体 殿

● 大戸川橋
西日本高速道路(株) 関西支社 殿
三井住友建設(株)・川田建設(株)・極東興和(株)特定建設工事企業体 殿

（建築部門）

● 大阪大学・日本財団 感染症センター
国立大学法人 大阪大学 殿

● 長崎スタジアムシティ スタジアム棟
(株)ジャパネットホールディングス 殿
(株)竹中工務店 殿

● 長岡造形大学第4アトリエ棟
公立大学法人 長岡造形大学 殿
(株)日本設計 殿
鹿島建設・吉原組 NID第4アトリエ棟(仮称)等建設特定共同企業体 殿
オリエンタル白石(株) 殿

